

こんごういんニュース

# 金剛院 NEWS

## いっしょに食べるとおいしいね! 「子ども食堂」へ感涙



「子どもの6人に1人が貧困」「一日の食事が学校給食だけ」という

驚くべき社会現実のなか「お寺ができること」を実現するため、昨年12月にスタートした金剛院の「子ども食堂」。午後3時を過ぎると食堂の運営を支えるボランティアスタッフが集まってきます。学生や仕事帰りの方、シニアの方や海外からの留学生の方もいて、幅広い世代が自由に交流し、自然なコミュニケーションが生まれています。お寺にいろいろな人が集まって、街の縮図のように人と人がつながる瞬間です。



金剛院では豊島区と協定を結んだ帰宅困難者の備蓄庫を蓮華堂に用意しています。また、消防庁とも協定して自然災害の際には消防団の待機所となるなど、有事に備えています。もちろん飲食を提供する関係上、保健所に飲食店の営業許可も頂きました。こうした取り組みも大切な

地域の子どもたちを守るために必要な準備です。



いま、この「子ども食堂」が全国のお寺を中心に広がろうとしていて、見学の方も各地から来られます。お寺という地域のランドマークが、地域の力で子どもを育てる方向に動き始めているようです。



午後6時オープンの子ども食堂(毎月第2・4木曜、子どもは無料、大人は300円)。



オープン前に段取りを打合せ。厨房では「豚肉とキャベツのみそ煮」が出来ました!



賛同企業さんからはクッキーやグラノラが提供されました。おみやげにどうぞ!

「子ども食堂」で子どもたちを見ていると、皆で一緒にごはんを食べると、こんなにも子どもたちの表情が豊かに変わるんだといつも思います。この経験は子どもたちが大きくなったときにかげがえのない思い出になるでしょう。そして、大きく羽ばたいてチャーミングな大人になっていくことが楽しみです。また、ママどうしが交流したり、スタッフと顔見知りになったり、お寺を通じて新しいつながりも生まれはじめています。(住職記)